



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ファインセンター 上場取引所 東・名
 コード番号 5994 URL https://www.fine-sinter.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 登士也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理統括部長 (氏名) 春田 広嗣 (TEL) 0568-88-4355
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	34,741	10.5	1,468	—	1,153	—	906	—
2025年3月期第3四半期	31,451	△2.1	△135	—	△260	—	△928	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,371百万円(—%) 2025年3月期第3四半期△685百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	211.65	—
2025年3月期第3四半期	△217.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	51,147	18,244	34.3	4,100.08
2025年3月期	47,835	16,993	29.5	3,291.89

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 17,547百万円 2025年3月期 14,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	3.0	1,500	119.5	1,100	132.6	950	—	221.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	4,420,000株	2025年3月期	4,420,000株
2026年3月期3Q	140,134株	2025年3月期	137,583株
2026年3月期3Q	4,281,264株	2025年3月期3Q	4,265,668株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

原材料価格やエネルギー価格の高止まり、物価上昇、さらには米国の通商政策等により、先行き不透明な状況が継続しております。加えて、自動車産業も急激な変化が進行しており、不確実性が一層高まっています。

こうした状況下において、当社グループは「経営基盤の再整備」「収益構造の抜本的改革」「事業ポートフォリオ変革」を重点戦略と位置づけ、電動関連製品の拡大、鉄道・油圧事業の拡大に取り組んでおります。

このうち電動関連製品については、昨年度に新規生産ラインを追加したハイブリッド車用インバーター部品（リアクトルコア）の生産が順調に推移しております。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は347億41百万円（前年同期比10.5%増）となり、営業利益は14億68百万円（前年同期は営業損失1億35百万円）、経常利益につきましては11億53百万円（前年同期は経常損失2億60百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、資本効率向上に向けた政策保有株式の縮減による投資有価証券売却益1億70百万円の計上により、9億6百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失9億28百万円）となり、営業利益以降の主要利益項目は前年同期の赤字から黒字へ転換いたしました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①自動車焼結事業

当第3四半期連結累計期間においては、主要顧客のグローバルな生産・販売が好調に推移したことを背景に、当社グループの売上は前年同四半期で増収となりました。増収要因として海外ではタイ子会社第2拠点における駆動系部品の販売が好調に推移したほか、国内においてもハイブリッド車用インバーター部品の需要が堅調に推移し、売上拡大に貢献いたしました。

利益面では、原材料やエネルギー価格の高騰、加えて労務費の上昇といったコスト増に対する販売価格への調整や、不採算製品に対する販売価格の適正化に取り組みました。さらに、過年度における原材料単価変動に伴う販売価格への反映が行われたことも加わり、増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は315億円と前年同四半期と比べ33億39百万円（11.9%）の増収となり、セグメント利益につきましては、27億23百万円と前年同四半期と比べ17億16百万円（170.5%）の増益となりました。

②鉄道焼結事業

新幹線用すり板の受注は前年同四半期と同程度で推移しておりますが、新幹線用ブレーキライニングの受注増加の期間が終了し、当第3四半期連結累計期間は通常受注に戻ったことにより減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は17億87百万円と前年同四半期と比べ51百万円（△2.8%）の減収となり、セグメント利益につきましては、4億87百万円と前年同四半期と比べ1億19百万円（32.3%）の増益となりました。

③油圧機器製品事業

デンタルチェア用製品について、トランプ関税の間接的影響により北米輸出を行う中国顧客向けの売上が減少したものの、北米顧客の売上の増加と新規案件の獲得により減少分を補填できました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14億46百万円と前年同四半期と比べ1百万円（△0.1%）の減収となり、セグメント利益につきましては、3億49百万円と前年同四半期と比べ22百万円（7.0%）の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

資産は511億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ、33億12百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金の増加（前連結会計年度末比28億80百万円増）等によるものであります。

(負債)

負債は329億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ、20億61百万円増加いたしました。これは、主に精密焼結合金(無錫)有限公司の持分取得により未払債務が増加したことによる流動負債のその他の増加（前連結会計年度末比9億15百万円増）、1年以内返済予定の長期借入金の増加（前連結会計年度末比9億28百万円増）、長期借入金の増加（前連結会計年度末比8億50百万円増）等によるものであります。

(純資産)

純資産は182億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ、12億50百万円増加いたしました。これは、主に資本剰余金の増加（前連結会計年度末比12億76百万円増）、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比8億20百万円増）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比12億44百万円増）、非支配株主持分の減少（前連結会計年度末比21億99百万円減）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月5日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。

なお、今後の業績動向に応じて業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,420,749	7,301,429
受取手形及び売掛金	7,902,766	8,062,032
電子記録債権	1,524,631	1,590,469
商品及び製品	1,085,506	1,079,360
仕掛品	1,898,012	1,801,840
原材料及び貯蔵品	3,921,220	4,049,599
その他	609,951	594,702
流動資産合計	21,362,837	24,479,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,218,194	16,992,180
減価償却累計額	△10,793,752	△11,339,325
建物及び構築物(純額)	5,424,441	5,652,854
機械装置及び運搬具	57,277,483	59,305,640
減価償却累計額	△46,465,561	△48,581,231
機械装置及び運搬具(純額)	10,811,921	10,724,408
工具、器具及び備品	6,883,870	7,686,846
減価償却累計額	△5,769,386	△6,353,141
工具、器具及び備品(純額)	1,114,483	1,333,705
土地	3,569,609	3,641,926
リース資産	1,296,387	757,403
減価償却累計額	△966,191	△464,832
リース資産(純額)	330,195	292,571
建設仮勘定	1,677,627	1,257,025
有形固定資産合計	22,928,279	22,902,492
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	5,502	16,914
その他	751,083	800,657
無形固定資産合計	767,993	828,980
投資その他の資産		
投資有価証券	1,508,472	1,810,961
長期貸付金	7,676	4,780
繰延税金資産	1,170,604	1,056,772
その他	89,915	65,051
貸倒引当金	△755	△690
投資その他の資産合計	2,775,913	2,936,875
固定資産合計	26,472,186	26,668,348
資産合計	47,835,024	51,147,783

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,748,900	2,849,956
電子記録債務	3,071,086	3,287,973
短期借入金	10,058,296	9,505,576
1年内返済予定の長期借入金	2,370,880	3,299,582
リース債務	145,135	120,470
未払法人税等	170,306	202,455
未払消費税等	90,254	286,494
未払費用	656,635	758,451
賞与引当金	850,581	527,597
役員賞与引当金	35,345	26,118
営業外電子記録債務	438,088	108,913
その他	786,097	1,701,583
流動負債合計	21,421,606	22,675,175
固定負債		
長期借入金	5,118,439	5,969,069
リース債務	571,954	533,866
繰延税金負債	25,639	25,988
役員退職慰労引当金	89,869	106,292
退職給付に係る負債	3,200,286	3,176,972
資産除去債務	371,445	374,261
その他	42,008	41,507
固定負債合計	9,419,643	10,227,959
負債合計	30,841,250	32,903,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,720,615	2,997,404
利益剰余金	7,197,881	8,018,373
自己株式	△161,606	△161,644
株主資本合計	10,959,891	13,057,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	702,261	911,048
為替換算調整勘定	1,944,528	3,188,787
退職給付に係る調整累計額	490,583	390,803
その他の包括利益累計額合計	3,137,373	4,490,639
非支配株主持分	2,896,509	696,877
純資産合計	16,993,773	18,244,649
負債純資産合計	47,835,024	51,147,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	31,451,862	34,741,882
売上原価	27,824,636	29,372,864
売上総利益	3,627,225	5,369,018
販売費及び一般管理費	3,762,326	3,900,983
営業利益又は営業損失(△)	△135,100	1,468,034
営業外収益		
受取利息	9,417	11,512
受取配当金	99,035	54,322
為替差益	162,039	3,468
助成金収入	16,025	17,862
雑収入	96,117	54,617
営業外収益合計	382,635	141,782
営業外費用		
支払利息	329,863	284,260
固定資産除却損	45,200	141,699
減価償却費	98,580	7,500
雑支出	34,065	23,085
営業外費用合計	507,710	456,545
経常利益又は経常損失(△)	△260,175	1,153,271
特別利益		
投資有価証券売却益	170,510	170,702
特別利益合計	170,510	170,702
特別損失		
過年度決算訂正関連費用等	540,716	-
減損損失	636,970	-
特別損失合計	1,177,687	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,267,352	1,323,973
法人税等	△387,467	338,649
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△879,884	985,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,288	79,199
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△928,173	906,124

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△879,884	985,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△417,080	208,787
為替換算調整勘定	648,030	1,277,088
退職給付に係る調整額	△36,300	△99,779
その他の包括利益合計	194,649	1,386,095
四半期包括利益	△685,235	2,371,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△889,841	2,259,699
非支配株主に係る四半期包括利益	204,606	111,720

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月30日付で連結子会社である精密焼結合金(無錫)有限公司の持分を追加取得し、完全子会社といたしました。主にこれらの影響により、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,276,789千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,997,404千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失
株式会社ファインシンター 滋賀工場 滋賀県愛知郡愛荘町	事業用資産	建物及び構築物 機械装置及び運搬具 工具、器具及び備品 建設仮勘定 リース資産	40,455千円 22,203千円 60,430千円 3,916千円 9,434千円
株式会社ファインシンター 山科工場 京都府京都市山科区	事業用資産	機械装置及び運搬具 工具、器具及び備品 建設仮勘定	169,305千円 26,664千円 12,487千円
株式会社ファインシンター 本社 愛知県春日井市	事業用資産	工具、器具及び備品 建設仮勘定	62,598千円 229,474千円

当社は、概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位として、主に工場を基本単位としてグルーピングをしております。この他に本社等については独立したキャッシュ・フローを生み出さないことから、共用資産としてグルーピングしております。

当第3四半期連結累計期間では、主として、生産性及び資産効率向上等の取り組みの一環である、2024年9月26日に開示した国内拠点再編に伴い、再編対象である山科工場の自動車焼結事業の固定資産を主な移管先である滋賀工場の資産グループに含め、割引前将来キャッシュ・フローを検討したところ、帳簿価額を下回ると判断したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上いたしました。

なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は外部専門家から入手した不動産鑑定評価額を基に評価しております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車 焼結事業	鉄道 焼結事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,161,363	1,838,748	1,448,208	31,448,320	3,542	31,451,862	—	31,451,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	28,161,363	1,838,748	1,448,208	31,448,320	3,542	31,451,862	—	31,451,862
セグメント利益 又は損失(△)	1,007,022	368,456	326,988	1,702,467	△628	1,701,839	△1,836,940	△135,100

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,836,940千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

自動車焼結事業セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては636,970千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車 焼結事業	鉄道 焼結事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,500,479	1,787,096	1,446,848	34,734,424	7,458	34,741,882	—	34,741,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	31,500,479	1,787,096	1,446,848	34,734,424	7,458	34,741,882	—	34,741,882
セグメント利益	2,723,568	487,629	349,762	3,560,960	1,392	3,562,352	△2,094,317	1,468,034

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△2,094,317千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,442,407千円	2,429,778千円